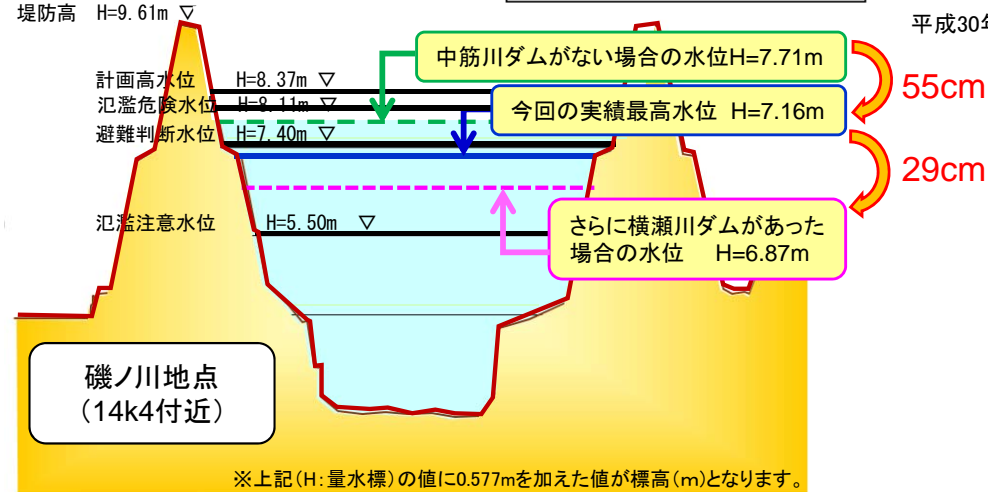
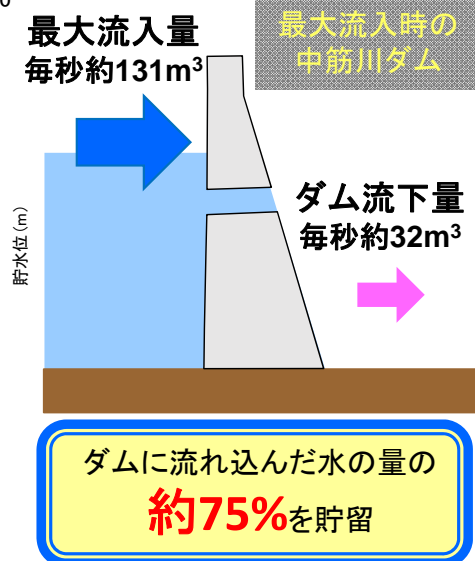
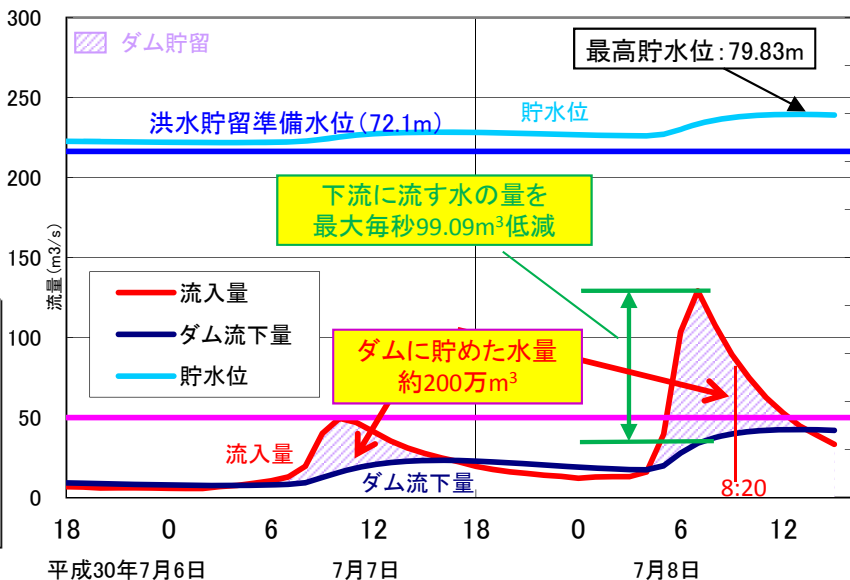
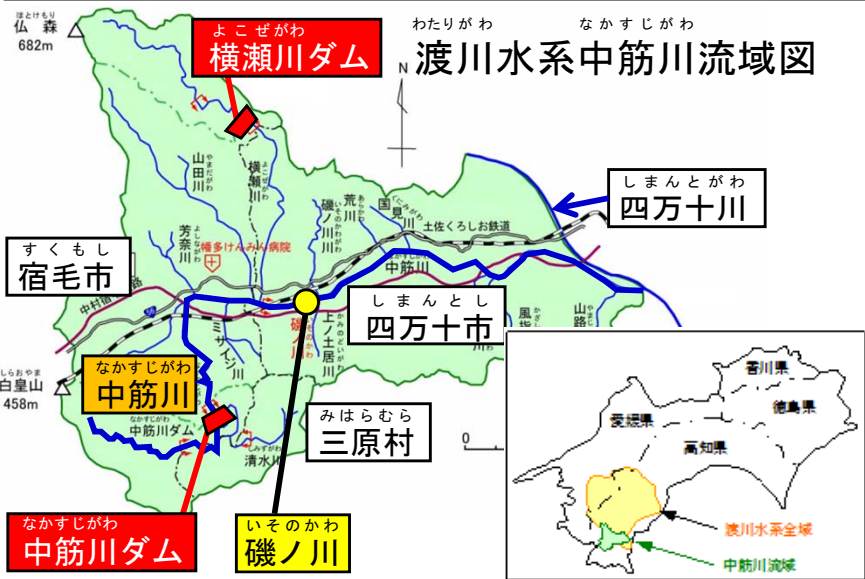


中筋川ダムの効果と横瀬川ダムに期待される効果(高知県・渡川水系中筋川)

- 梅雨前線の降雨により中筋川ダム上流域では、7月6日19時から8日13時までに累計雨量で292.7mm(時間最大雨量43.1mm・7月8日5時)の降雨を観測しました。
- 中筋川ダムでは、ダムへの最大流入量131.4 m³/sの**約75%をダムで貯留し、磯ノ川地点の水位を55cm低減(避難判断水位+0.31m(7.71m)→避難判断水位-0.24m(7.16m))**させたことにより浸水被害はありませんでした。
※床上90戸を含む浸水家屋118戸の内水被害があった平成26年6月洪水時の磯ノ川地点の水位は7.65m
- 横瀬川ダムが完成していた場合には、さらに**29 cmの水位低減効果が期待できた**と推定されます。

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。